

■地域で空き家対策を行う団体の意見交換会

「空き家のわ」ネットワーク～エリアミーティング in 江府町～を開催！！



中山間の空き家対策には、地域エリアごとの連携・協力が不可欠であり、また県市町村の枠を超えて行政と民間団体が協力する広域的な体制が求められています。そこで、初めての試みとして、鳥取県西部で空き家対策に取り組む行政や民間団体が連携を深め、共通課題を共有・議論する【エリアミーティング in 江府町】を12月19日(金)、江府町役場2階「多目的ホール」にて開催されました。

「定員30名」のところに鳥取県をはじめ8市町から行政職員、地域民間団体・個人、事業者等から40名近くの申込があり、「空き家問題」に対する認識や関心の高さがうかがえました。

【第1部】は事例発表として、ゲストの皆さんに
それぞれの立場や地域からの事例発表が行われました。

- ◆いんしゅう鹿野まちづくり協議会 小林清事務局長
「空き家を活かす地域になるために」
 - ◆空き家問題専門家 尾崎恵輝一級建築士
「空き家問題の基礎知識
～空前の“空き家大発生時代”がすぐ目の前に～」
 - ◆NPO法人こうふのたより 上野真事務局長
「NPO法人こうふのたよりの活動について」

小林清事務局長



尾崎恵輝一級建築士



上野真事務局長



【第2部】は意見交換会【クロストーク】として、いなば移住支援ミーティング・平賀謙太代表をファシリテーターにお迎えし、参加者とゲストと共に車座で質問や意見交換を行いました。

【クロストーク】とは異なる立場や部署のメンバーが自由に意見交換や対談を行うことで、今回は参加者を3つのグループに分けて、ゲストへの質問や感想を中心に活発な意見交換を行いました。

平賀謙太代表



あるグループでは現在抱えている空き家問題について、それぞれの立場から事例を踏まえながら「こんな風にしたらどうだろう」と解決策を提案したり、県市町村や立場の枠を超えて広域で協力する体制を体感することが出来た【クロストーク】となりました。

平賀謙太ファシリテーターから「空き家問題3つの格言」を披露し、エリアミーティングを総括しました。

- 空き家問題も人口減少問題も、自然に解消しない
- 地獄の沙汰も力ネ次第、実家の沙汰もまち次第
- 桃クリ3年かき8年、空き家3年価値半減

皆さんがあなずく納得の「格言」でした！！



最後に参加者全員で写真撮影～📷✨ 時間いっぱいまでそれぞれに名刺交換や次に繋がるよう情報交換しながら、交流を深めたエリアミーティングとなりました。